

# 東日本大震災復興支援 生活支援相談員ニュースレター～VOL. 33～

平成30年9月発行

【発行】

社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会 地域福祉企画部 コミュニティ振興グループ  
岩手県盛岡市三本柳 8-1-3 ふれあいランド岩手内 TEL:019-601-7042 FAX:019-637-7532

## 新任生活支援相談員研修を開催 ～対人援助の基礎を学ぶ～



平成30年8月30日(木)の10時30分から15時30分まで、盛岡市都南公民館(キャラホール)で、第2回新任生活支援相談員研修を開催し、沿岸と内陸の新任の生活支援相談員34名が参加しました。

八戸学院大学 健康医療学部人間健康学科 吉田守実准教授を講師に迎え、「対人援助の基礎知識・対人援助技術の基本」の講義と演習を行いました。

講義では、訪問活動に必要な知識や技術を学び、「思いを受けとめるための技術を学べた」「上でも下でもなく対等な立場で話していいということが分かった」との感想がありました。

演習では、言葉を使わないコミュニケーションで誕生日順に並ぶゲームや、お互いを褒め合うゲーム等、アイスブレイクのロールプレイをしました。一気にリラックスした雰囲気になり、「コミュニケーションの取り方がわかった」「サロン活動で生かしたい」と楽しみながら演習をしました。

その後の情報交換では、お互いの活動の様子を話し合いました。新任の生活支援相談員同士、共通の悩みもあり、「他の社協の方の意見を聞くことができ、勉強になった」「沿岸も内陸も同じ悩みがあり、励みになった」との声も聞かれました。



## 内陸の生活支援相談員の情報交換会を開催

平成30年9月7日(金)の10時30分から、北上市総合福祉センターで、内陸部生活支援相談員等情報交換会を開催し、盛岡市、花巻市、北上市、遠野市、一関市、奥州市、滝沢市及び、住田町の社協並びにもりおか復興支援センターの生活支援相談員14名が参加しました。



午前中は、県社協から支え合いマップマニュアルに関する説明と情報交換を行い、「住民が取り組みやすいよう防災マップとしてアレンジしている」「マップの更新をし

たところ、被災者世帯のつながり線が増えていた」等、それぞれの取組状況を共有しました。また、「被災者支援は地域支援につながるのではないか」「社協の地域支援担当者との連携が大切」との意見も出されました。

午後は、フリートークで各市町村の取組について情報交換をしました。再建先を検討するに当たり、県のファイナンシャルプランナー相談事業を活用できた事例のほか、災害公営住宅の入居状況、地域の自治会形成の情報、交流事業等を共有しました。

## 住民と一緒に支え合いマップを作成 ～田野畑村・一関市の取組～

県社協では、「住民支え合いマップ」をツールとした地域支援に取り組んでいます。住民の皆さんから地域のことを教えていただき、住民同士の支え合いを生かした地域づくりを目指します。

### ☆ 田野畑村の取組（黎明台団地）

平成 30 年 9 月 13 日（木）、田野畑村で初めて住民支え合いマップを作成しました。

高台移転団地の黎明台団地の住民 3 名に参加していただき、田野畑村社協と県社協の生活支援相談員が地域の状況を聞き取り、地図上に書き込みました。

言葉や線で表すことで、団地内で気になること、将来への希望なども改めて確認することができました。

後日、参加され住民と一緒に振り返りを予定しています。



### ☆ 一関市の取組（沢内地区）

平成 30 年 9 月 20 日（木）、一関市沢内アパート 2 号棟の談話室で、住民支え合いマップを作成しました。

沢内アパート 2 号棟は、東日本大震災により、市内で被災した方向けの災害公営住宅です。平成 28 年 5 月から入居が始まり、現在は 22 世帯が入居しています。

アパートの入居者や地域の元民生委員等 6 名に参加していただき、一関市社協の生活支援相談員がアパートや周辺の地域の状況を聞き取り、地図上に書き込みました。住民同士の交流、支え合いや助け合いの意識が強く、ひとり暮らし高齢者の方を普段から気にかけている様子が分かりました。



マップ作成後には、地域福祉コーディネーター、ターも交えて振り返りを行い、見えてきたご近所の良さ、特徴、つながりに関しての現状と課題を話し合いました。後日、参加された住民と一緒に振り返りを予定しています。